

♪大きく 元気に 素直に育て♪



東っ子

いわき市立小名浜東小学校だより
令和2年度第10号
令和2年11月30日
発行者：校長 鈴木 廣美

久しぶりの全校活動：ヒガリンピック2020

11月6日に、小名浜東小学校恒例となった児童会活動「ヒガリンピック」が行われました。これは、校舎・校庭に隠された問題を解いてポイントを獲得していくオリエンテーリング型のゲームで、1年生から6年生までの異学年混成のチームが、ポイントを探しながら、校地内を歩いて回るものです。

コースの途中に「校長先生に出会ったら、班長が自己紹介して一言」などのミッションがあり、時間内に歩くルートによっても、加点ポイントが違ってきます。また、縦割り班独特のルールとして、年長者は年少者の面倒を見ることが大事なので、チーム内で迷子が出たら減点されるというのもあります。



6年生の班長と副班長は、下級生に気を配りながら、問題にチャレンジし、どの班も時間内に体育館のゴールにたどり着くことができました。最上級生として、チームを率いる役割を見事に果た



した6年生の満足感も大きかったようです。班長さんの一言の中には、「今年は、今まで全校生で参加できる行事がなかったので『ヒガリンピック』ができてよかったです。班長として責任を持って下級生のお手本になるようにがんばります。」という内容があり、感動させられました。今年度は、感染症対策のため、分散

型や学年毎の行事や集会が多く、11月に入って、やっと全校生で取り組む活動ができました。

当日は、「ふくしま教育週間」の一環で、前日に続き、学校公開日でした。参観者の感想を読ませていただくと、上級生が下級生の面倒を見ながら、楽しく活動していた様子が好評でした。

感染症に配慮して、例年のように活動の後に縦割り班でお弁当を食べることはできず、それぞれの教室に戻って食べることになりましたが、子どもたちの笑顔にあふれた「ヒガリンピック」になりました。

情報モラル教室（5年生）

11月5日の2時間目、5年生は情報モラル教室でSNSの危険な事例を学びました。講師は、生涯学習市民講師の猪狩信一郎さんです。インターネットを利用する環境で、いじめや課金などのトラブルに巻き込まれないようにするためにも、保護者の皆様には、フィルタリングをお願いします。



手話教室を体験しました（4年生）



情報モラル教室の後、同じく11月5日の3・4校時に、4年生が手話教室を体験しました。4年生は、国語の教材で目の不自由な人のための点字を学習するのですが、同時期に耳の不自由な人のための手話を体験することで、障がいやユニバーサルデザインについて幅広く理解することを目指しています。講師は、いわき聴力障害者会の石井静子さんと、いわき手話サークルの石原裕子さんでした。4年生の子どもたちは、2時間続きの授業でしたが、真剣に取り組んでいました。

新型コロナウイルス感染症対策が欠かせない、今の生活環境では、多くの人が意思疎通のために簡単な手話を覚えることも必要かもしれません。9月に5年生が利用した「いわき海浜自然の家」の食堂では、食事中の会話での飛沫を遮断するパーテーションがありましたが、それには「おいしいね」を表す手話のイラストが描かれていました。飛沫を出さずに、互いの仕草で「おいしいね」を伝え合うことができるからです。

授業の最後には、手話をしながら簡単な挨拶や自己紹介ができるようになり、子どもたちの心に残る授業になりました。

弁護士による「いじめ根絶授業」（6年生）

10月28日、6年生が「いじめ防止教室」に参加しました。講師は、現役の弁護士さんです。いわき法律事務所から菅波香織さん、湊法律事務所から安藤眞史さん、磐城総合法律事務所から金田康裕さんの3名にお越しいただき、いじめがどんなに人を傷つける行為であるか、人権をふみにじる行為であるかについて、法律的な裏付けをもとに、詳しくお話しいただきました。

子どもたちも積極的に質問し、「いじめ防止」について深く考える機会となりました。



福島民報：新聞出前授業（5年生）



11月17日、福島民報社の出前授業で5年生が、新聞づくりについて学びました。

私たちの身の周りには、テレビ・ラジオ・新聞等様々なメディアがありますが、近頃は、インターネットの情報に頼り、新聞を読まない子も多くなってきたようです。出前講座では、取材から編集、印刷、配達までの流れを確認し、最後に当日の新聞を読みながら気になる記事を探して、わかったことを発表しました。多くの知識を得ることができる新聞は、学校の図書館にも配備してあります。これからも子どもたちが新聞を読むようにしたいです。